

令和 6 年度地区懇談会（鷺別地区） 議事録（概要）

令和 6 年 1 0 月 8 日（火） 1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0

鷺別コミュニティセンター 出席者 2 6 名

4. 市からの情報提供：登別市消防庁舎の進捗について

質問：ひまわり町内会

- ・ 令和 7 年 4 月に鷺別支署が新庁舎へ移転した後も鷺別支所は残るのか。

回答：消防本部

- ・ 鷺別支署が高台へ移動した後も、鷺別支所は残る。

意見・質問：鷺別 3 丁目町内会

- ・ 鷺別小学校に少し関わっており、子どもが病気や倒れたりした場合はすぐに救急車を呼ぶつもりではあるが、高台へ支署が移動したことによって、今よりどのくらい時間がかかるようになるのか。

回答：消防本部

- ・ いろいろなシミュレーションを行っているが、高台に移動したことにより 4~5 分ほど遅れることが想定されている。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

（1）高齢者・障がい者などに配慮した買い物支援について

概要説明：ひまわり町内会

- ・ 鷺別地区には 1, 400 名ほど 65 歳以上の高齢者が居住しているが、商店は 3 店舗しかない。隣町の大型店へ自転車やショッピングカート等で買い出しに行っている状況であるが、線路を渡る際に、ショッピングカート等の車輪がひっかかり、全国的にも事故が起きていると聞いている。またカタログ等の利用による購入だと割高になってしまう。地域としては商店の増加が望ましいが、現状では経済的に難しいと考えるため、少なくとも現在ある 3 店舗がなくならないよう、また買い物難民がでないよう策を講じて欲しい。

回答：観光経済部

- ・ 商店を取り巻く環境については、少子高齢化や人口減少が進む中で、大型店の出店やインターネット販売の普及、個人商店の後継者問題など経済状況が厳しくなると、商店が維持できなくなるケースが増えていくことが考えられる。市内でも、買い物の利便性が低下し、特に車を利用しない高齢者を中心とした買い物へのアクセス問題が顕在化していることを認識している。各地域にあるスーパー等の店舗を維持するため、まずはそ

の地域で生活する方が意識的にその店舗を利用し、域内循環に取り組むことが重要であろうと考えている。それに加え空き店舗を活用し事業を行う者に対して補助する「空き店舗活用事業補助金」や新たに事業活動を行う者に対して補助する「事業所開設費補助金」など補助制度により事業を行う方へ支援し、商店を維持していきたいと考えている他、「商店街活性化支援事業補助金」により、商店街等が独自に企画・運営する事業に対し補助することで、商店街としての魅力やにぎわい創出に向けて取り組んでいる。

- ・ また、民間が行う買い物難民対策としては、大手スーパーが行う市内全域への宅配サービスや移動販売が提供されている。鶯別地区については、移動販売が実施されていないが、地域からの要望があれば検討することも可能と聞いている。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項

(2) 鶯別海岸線の漂着物の撤去について

概要説明：ひまわり町内会

- ・ 栄町4丁目付近の海岸に大量の海洋プラスチック等の漂着物が流れ着いている。過去に1mを超えるような大きな材木が流れ着いていたことを確認している。以前にも北海道へ撤去の依頼をしているが、予算がないと言われ実現していないため、市から北海道へ働きかけてほしい。

回答：市民生活部

- ・ 鶯別海岸における漂着物の撤去については、これまでも地域の方から相談を受けている。相談を受けた際に、クリンクルセンターで処理ができるペットボトル等については、住民の方にボランティア袋を提供し、ごみの回収作業に協力するほか、春と秋に実施している市内一斉クリーン作戦では、鶯別漁港周辺の清掃活動に対して塵芥収集車を派遣してごみの回収の協力を行っている。
- ・ 一方、クリンクルセンターで処理ができない浮き玉や大きな漂流木については、北海道へ処理のお願いをしているが、北海道も限られた予算の中で対応を行っているため苦慮している状況にある。北海道では現在、国の補助制度で海岸を清掃できる事業があるため、その制度を活用し対応していきたいとのことだが、全道を見ているため、鶯別海岸線を優先的に実施することは難しいとのことだったためご理解いただきたい。
- ・ 市としても、鶯別海岸は散策やウォーキング等の地域住民の憩いの場として親しまれていることを理解しているため、良好な衛生環境や景観の保全が図られるよう、引き続き北海道へ情報提供や要望を行う。
- ・ 直近では、令和6年6月に、町内会関係者より同課題に関する相談を受けており、北海道へ対応していただけるよう要請している。

意見：ひまわり町内会

- ・ 地震や津波が発生した場合に、大きな漂着物が流れ出てしまうことが予想されるため、地域住民としては漂着物を撤去してほしいという思いがある。その思いも合わせ

て、北海道へ要望してほしい。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項 (3) 町内会役員等のなり手不足対策について
--

概要説明：ひまわり町内会

- ・ 当地区連に限らず、町内会役員が減少し、町内会運営や行事の開催に苦慮している。町内会役員に限らず、消防団員等も欠員が出ている状況にある。町内会としては、掛け持ちや事業・行事の見直しを行い、住民へのサービス低下を招いている。そこで提案だが、市の職員に役員の役割を理解し、なり手の心を育てていただきたい。市の職員も自らボランティアの活動に携わるような心を植え付けて欲しいと思っている。

回答：市民生活部

- ・ 日頃より積極的に町内会活動へご協力いただいておりますこと、心から感謝申し上げます。町内会役員のなら手不足について、これまでも町内会の皆さまからは課題のひとつとしてお聞きしており、本市の職員や退職者においても、町内会役員として活躍していること、また役員以外でも町内会行事の際には積極的に参加していると聞いている。町内会は地域住民の交流や親睦を図る各種行事の展開だけではなく、防災活動や見守り活動など、行政だけではなし得ない大きな担い手であると認識しているが、町内会活動への職員の参加はあくまでも任意であり、その点を留意しながらも、市職員の新規採用時の研修期間中に町内会の役割や重要性などについて説明を行っており、また全庁掲示板による周知を実施し、新規採用職員を含む全職員へ町内会の加入促進を含め理解と協力を求めている。今後も引き続き、連合町内会事務局長と連携し、これらの取り組みを実施していきたいと考えている。

意見：ひまわり町内会

- ・ 前市長のときに、地域の担当職員に町会行事や会議に出席するよう働きかけたが、鷲別地区については、誰も参加していなかった。この取り組みについては難しいところがあった様に感じたが、地域住民と市職員が関われる取り組みを考えて欲しいと思っている。

質問：はまなす町内会

- ・ 当町会ではなんとか町会役員を12名としているが、役員の高齢化が進み、いつ何が起こるか分からない状況で町内会を運営している。登別市には93町内会あるかと思うが、すべての町内会が、町内会行事等を開催できているのかお聞きしたい。
- ・ 昔は、60歳が定年だったため、役員は60歳ぐらいだったと思うが、定年が延長されたため、当町会の副会長は仕事をしながら町内会役員をやっている。役員をお願いしても、仕事をしている方が多くなかなか引き受けてもらえない。働き方というものが変わり、ますますなり手不足を感じている。

回答：市民生活部

- ・ 93 町内会すべての町内会行事等の開催について、詳しく調査を行ってはいないが、多くの町内会が高齢化が進み、なかなか従来の活動を行うことが難しくなってきたと聞いている。町内会の中で行事をやって欲しいという声はあるが、苦慮していると聞いている。ある町内会では、参加する行事のスタッフとして、広く声をかけてサポーター方式を取っており、サポーターを登録してもらい、行事があるときに声をかけ、サポーターの参加を募るという方式を実施している。また、しばらく休会していた町会が、防犯灯の維持管理が困難になり、防犯灯の補助金を貰いたいと相談があった際に、防犯灯の補助の交付対象は、町内会であることが条件となっているため、広報の配布や緊急連絡網等の作成など、一部の町内会活動を再開し、最低限の機能だけでも行っていたければ町内会として補助することが可能であることをお伝えし、連合町内会事務局長と市担当職員で数年かけて町会を再開させたという事例もある。町内会の運営については、それぞれの町内会の人数に合わせた活動方法があるということを町内会の事例を交えてお伝えさせていただいた。
- ・ 現在では、定年が 65 歳になり、将来的には 70 歳まで引き延ばされるというような話も出ており、70 歳で仕事に就いているという方も珍しくなく、町内会役員の高齢化は現状のまま続くことが考えられる。その中で、身の丈にあった町内会活動というものが必要となり、その活動はあくまでも自治会組織が中心となり、行政が先導するようなものは好ましくない。連合町内会事務局としても、この問題は重視しており、現在プロジェクトチームを立ち上げ、協議を進めると聞いているため、市としても事務局と連携しながら問題解決に努めたい。

回答：市連合町内会

- ・ 事務局としても、町内会のなり手不足について、相談を受けており、多くの町内会が苦慮していることを把握している。現在、プロジェクトチームを立ち上げ、改革見直しを行っており、町内会を維持するため、町内会の合併や統廃合を視野に入れながら、次代を見据えた町内会活動の有り方や現行の活動の見直し等を行い、2 月を予定している会長会議である程度の方針をお示ししたい。

意見：鷺別町 6 丁目町内会

- ・ 当町内会も役員のなり手不足については大変苦慮しているところである。会長からお話しがあったように、市の職員が町内会の役員になってくれれば非常にありがたいところではあるが、自治会組織も行政も互いに意識の改革というものが必要であり、行政は職場を離れたら一市民であることを理解し、自治会は市職員だから役員をとという考えではなく、対等の市民という認識が必要である。

6. 市長のまちづくりに関する説明について

意見・質問：鷺別3丁目町内会

- ・ 子どもファーストで保育所の話があったが、保育士の人数が足りていないと思う。これは登別市だけの問題ではないと先ほどから聞いているが、保育士の給料が安すぎるため、なり手が少ないのではないかと考えている。給料が安い割に仕事が大変である。
- ・ 漂着物の中の木材を薪として焚きたいという人がいたら、拾って行っても良いものなのか。良いのであれば、少しでも漂着物が減るのではないかと考える。
- ・ ごみ収集を行っている方が週3回収りに来てくれるが、本当に一生懸命で走ってごみを回収している。朝、回収の際に会うと、すごく気持ちの良い挨拶をしてくれる。暑い中、走って仕事をしている姿を心配しながら見守っています。ゴミ袋に詰めているときに、収集車が来てしまった時は、走って取りにきてくれたこともある。収集を行っている方にとっても親切にされたことが多く、感謝している。お伝えいただきたい。

回答：保健福祉部

- ・ 保育士の人数については、足りていないのが現状である。これは公立、また民間が運営する保育所でも同様である。このような影響もあり、待機児童というものが発生している。保育の需要が低年齢化している。例えば、0歳児だと子ども3人につき1人の保育士が、3歳児だと15人につき1人、4～5歳児だと25人につき1人が必要となる状況となるため、さまざまな手法を使いながら保育士の確保に努めているが、なかなか妙案には至っていない状況である。市長の公約でもあったとおり、奨学金の返済支援等を実施しながら保育士の確保に努めていきたいと考えている。児童館、児童クラブも同じような状況にあるため、運営体制なども考えながら今後検討をしていきたい。
- ・ 給料については、全国的に言われているところであり、都市部では給料を上げ保育士を確保し、結果若い人が流れていっていると聞いているが、それ以外に登別市の魅力というものを発信し、人材確保を行っていきたい。こどもファーストという部分で、子どもや支援者に対して、何らかの対策を継続して検討していきたい。

回答：市民生活部

- ・ 漂着した流木については、所有権はないため、有効活用していただければと思う。過去にも登別漁港に漂着した流木を、地域の方に提供したことがある。ただ、自宅で薪を焚くことで煙等が苦情に繋がることもあるため、取扱には注意をしていただければと思う。
- ・ 収集作業員の方への労いの言葉については、しっかりと伝えたいと思う。このような言葉が日頃の仕事への励みになるかと思う。ありがとうございます。

質問：鷺別2丁目町内会

- ・ 津波避難の関係で、登別市で5箇所くらいJRの線路を横断していくという計画があったかと思うが、中間報告を願いたい。

回答：総務部

- ・ 登別市内における線路横断による避難について、昨年市内 10 箇所を希望していることをお伝えした。本年 9 月に J R の職員と市の担当職員とで現地確認を実施し、手のつけれるところから話をいただいているが、安全面に配慮してどのように進めて行くのか方向性を協議しているため、協議が整い次第、予算を立てていきたいと考えている。

質問：鷺別 2 丁目町内会

- ・ 学田通り踏切からイオンまでの 2 km ほど、1 m 以上の側溝があるが、何人かその溝に落ちて怪我をしたと聞いている。また、若草小学校よりの側溝から少し離れた所には 1 m 以上の柵があり、その柵に脚立やはしごをかけて線路を横断して、畑を作っている人がいたため、自分が撤去した。側溝の上に板を置いて避難をするという話を聞いたが、津波が来るという事は、当然列車も止まっている。

回答：総務部

- ・ 側溝については、渡れるところを J R と協議し、はっきりと渡れるところが決まってから場所を作ることとしているため、現在はその場所をどれだけわかりやすくできるか話をしている。その際に、板を架けて渡るのではなく、コンクリートの橋を用意しなければならないと考えている。

意見：鷺別 2 丁目町内会

- ・ 線路を横断してパチンコに行く市民がいるが、記憶ではこれまで死傷者が 3 人ほど出ている。